

**メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称: 育ち盛り)**  
**～ハンガリーの信用不安について～**

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

ハンガリーにおいて、一部の高官による発言を受けて同国に対する信用不安が高まり、先週末に大きく市場が下落しました。ハンガリー経済の現状および今後の運用方針につきまして以下の通りご報告させていただきます。

**【ハンガリー経済の現状について】**

6月3日(木)、現政権で公的財政の調査委員会を率いるバルガ委員長は、経済は深刻な状況にあり、財政赤字の対GDP比は前政権が予想していた-3.8%ではなく-7.0から-7.5%になる可能性があることを示唆し、2010年の予算が現実を反映していないと発言しました。また同日、オルバン・ハンガリー首相は欧州委員会のバローゾ委員長に財政規律の緩和を要求したところ、バローゾ委員長はオルバン首相の提案を拒否し、同国の財政再建を促す発言をしました。

さらにその後、与党フィデスのコーシャ副党首は、財政状況は予想より大幅に悪化しており、ギリシャと同じシナリオを避けられる見込みはわずかであると発言しました。この流れを受けて、ハンガリーが債務危機に陥るとの懸念が高まり、6月4日(金)の外国為替市場では、ハンガリー・フォリントが対円で前日比4.1%下落、債券市場では、JPモルガンGBI-EMハンガリー指数が前日比1.2%下落するなど市場は動揺しました。

6月5日(土)に、ハンガリー政府は2010年財政赤字目標対GDP比-3.8%を維持するとの考えを表明し、6月8日(火)までには、行動計画が公表されるとの声明を発表したことから、市場は幾分落ち着きを取り戻しています。

**【今後の運用方針について】**

ハンガリーの2010年の経済成長見通しは弱く、公的債務の対GDP比は79%と予想されており、民間部門の外貨建て債務は大きいことから、同国にとって財政規律の維持は重要な課題となっております。ただし、スタンディッシュ社ではハンガリーがギリシャのような債務危機に陥る可能性は低いと考えております。理由として、2010年のハンガリーの公的債務の対GDP比は79%とギリシャの133%に比べて低いと予想されること、さらにはハンガリーの経常収支がプラスで、為替制度がより柔軟なことなどからハンガリーは欧州周辺諸国ほどのリスクにさらされていないと考えております。今後の動向については、6月8日(火)に発表される財政収支目標達成のための詳細について注目が集まります。

ハンガリー債券については、インフレ懸念が沈静化していることや、名目金利が高いことなどから、ベンチマークに対し中立のスタンスと致します。

通貨(ハンガリー・フォリント)については、同国が多額の対外債務や公的債務、経済の先行き不透明感などの不安定要素を抱えていることから、ベンチマーク比低めの組入れを行って参ります。

スタンディッシュ社では、引き続き経済情勢や市場動向を注視して運用を行って参ります。

(ご参考) 2010年4月末時点におけるマザーファンドの組入れ比率

ハンガリー債券:9.7% ハンガリー・フォリント:8.6%

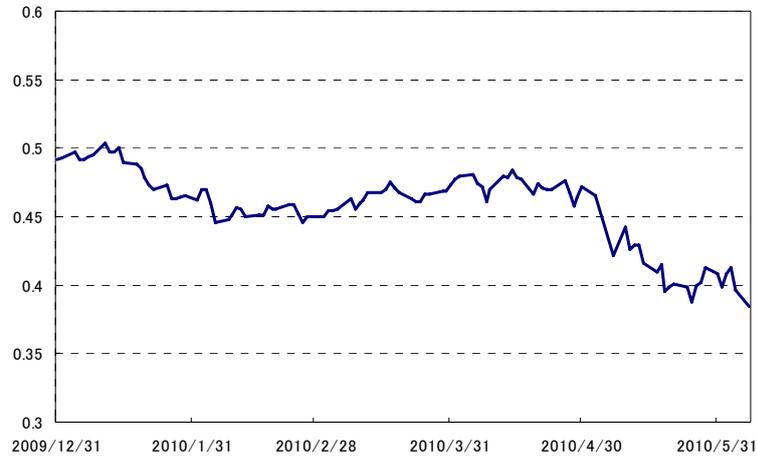
(2010年4月末時点におけるベンチマーク※のハンガリー組入比率:債券・通貨とも各10.0%)

※ベンチマークは JP モルガン GBI-EM Diversified 指数(ヘッジなし、円ベース)です。

以上

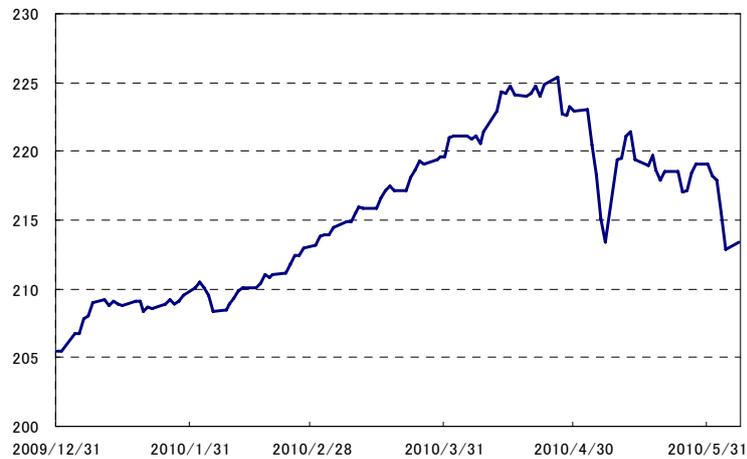
【ご参考】

ハンガリー・フォロントの推移(対円)  
(フォロント/円) (2009年12月31日～2010年6月7日)



(出所)ブルムバーグ

JP モルガン GBI-EM ハンガリー債券指数  
(2009年12月31日～2010年6月7日)



(出所)ブルムバーグ

### ＜ファンドのリスク＞

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### ＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

**BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社**

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会